2019 年度実施概要

学校名

羅臼町立羅臼幼稚園

採択活動名

「昆布の魅力を取り巻く環境を学びながら　つながりのある学習を目指す」

取り組みの概要

〇2 年生生活科交流「稚魚放流報告会」(5 月)

例年、更生保護女性会との交流で食べている鮭がこんなに小さいこと、3 年たったら自分が生まれた海に戻ってくること、自分が生まれた場所が分かることを知った。

〇市場見学　(7 月)

羅臼の海には３００種類のおいしい魚がいる。
流氷からの恵みがある。

〇海で遊ぼう→ルサ・フィールドハウス見学。
悪天候の為、施設見学へ変更。
羅臼町に生息している動物について学ぶ。

おいしい魚がとれるのに・・・漁港が汚れている。(クリーン作戦を計画→熊出没により園外活動の自粛)
・昆布番屋見学、海活動は中止。

〇クマ学習（7 月）

毎年、年長児が行い、クマの生態について学ぶ。「クマは怖いものではなく、お友達である」「共存していく為には・・・」。年長児が学んだことをポスターにして年少、中児、保護者へ発信。

〇昆布を知ろう(7 月)

羅臼昆布が販売されている過程を見学。
「羅臼昆布は世界的にも有名」に驚き、興味関心をもつ。

〇食育：流しそうめんの日（8 月）

昆布の粉を粉末にしてめんつゆに入れて食べる。
「昆布の味がする～」と大好評。

〇クリーン作戦　(9 月)

海岸での清掃活動が実施できず、小学生の校区内清掃活動に参加。

〇海上保安員による海の環境保全　（１０月）

海上保安員による紙芝居の読み聞かせから、海にゴミを捨てると・・・というお話「海も生きている」「海を守るってたいせつだね」「海の豊かさを守ろう」「生き物について考えよう」となり、海を汚すことで生き物に被害が及ぶことだけではなく、自分達にも影響がでてくることを知った。

○更生保護女性会との交流　　（１０月）
稚魚放流会で聞いたことを実際に目で見て確認することができた。

○津波所行に参加　（10 月）
海は時には怖い面があることを知り、自分の身を守る大切さを学んだ。

○5 年生総合的な学習「昆布学習の発表」(2 月)

※当初は取り組み前に昨年度の記憶を呼び起こそうと 6 年生に昨年度の活動を発表してもらおうと計画していたが内容変更。

今年度、自園は昆布の取り組みが園外活動自粛により、5 年生の昆布学習の発表から学んだ。

・羅臼昆布は羅臼にしかない。
・山や海を大切にきれいにするとおいしい昆布ができる。
・昆布は羅臼の宝物。
・昆布漁師さんが減っている→昆布漁存続の危機！！

⇩

「自分達が今できること」を話し合うことができた。

⇩

・自分達が卒園した後・・・
「5 年生から聞いた話を年中さんにも教えよう！いてくれるかも年長さんになったらみんなできれいにする取り組みをしてくれるかも・・・」と期待を込めて発表した。

＊今年度の活動を通して、環境について考える場が多く「今、自分たちができること」「どのようにしたらいいのか」を話し合い、さらに自分達が学んだことをまとめ発信する機会を多くもつことができた。

活動中の写真
デジタルデータにて 2～3 枚の添付をお願いします。

実施単元名　※実施した単元の数に応じて記載してください

1.
2.